



暦の上では、2月4日は立春ですが、今年は去年に比べて寒い時期がまだまだ続くようです。子ども達は寒空の中も戸外に出ては、頬を赤らめながら鬼ごっこなどをして元気に遊んでいます。感染症などで体調を崩しやすい季節でもあるため、体調管理をしっかりと行ない、元気に過ごしていきましょう。

こころの日 保育目標 落ち着いて過ごそう

保育目標

- 5歳児（道）
 - ・友だちとのつながりを深める中で、自分の思いや考えを表しながら遊びを楽しむ。
- 4歳児（和）
 - ・自分でできることを進んで取り組み、出来た喜びを感じる。
- 3歳児（愛）
 - ・友だちに思いや気持ちを言葉で伝えて、様々な活動に積極的に取り組む。
- 2歳児（心）
 - ・友だちや保育者と一緒に、言葉のやりとりをしながら遊びを楽しむ。
- 1歳児（輝）
 - ・保育者や友だちと関わりを深めながら遊びを楽しむ。
- 0歳児（純）
 - ・友だちへの関心が強まり、関わって遊んだり一緒にいることを楽しんだりする。



学園だより 第598号
光の子 令和5年2月1日
 光明第五保育園
<https://www.koumyou5.net>



2月の行事予定

1日（水）	こころの日・煎茶道	16日（木）	誕生会
3日（金）	節分 豆まきの集い	17日（金）	二の午 体操教室（和・心）
4日（土）	立春	23日（木）	天皇誕生日
7日（火）	身体測定（乳児）	24日（金）	体操教室（愛・道）
8日（水）	身体測定（幼児）	25日（土）	懇談会
9日（木）	作品持ち帰り日	27日（月）	交通安全教室
10日（金）	動画配信日		
11日（土）	建国記念の日	※避難訓練、不審者対応訓練は予告なしで実施します。	
15日（火）	涅槃会・坐禅会		



建国記念の日

建国記念の日には、「日本ができたことを祝い、大切に思う気持ちを育む」という意味があります。神武天皇が即位した日にちなんで定められた紀元節を由来として、1966年に日本国民の祝日に制定されました。



節分・豆まき



「節分」とはもともと季節の変わり目で、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことを言います。昔の暦では春から新しい年が始まったため、いつのころからか立春だけが節分と言うようになりました。立春（節分）は、新年を迎えるのと同じくらい大事な日として、豆まきをして邪気を追い払う行事として定着してきました。保育園でも2月3日（金）に豆まきを行ないます。自分たちで作った鬼のお面をかぶり、「鬼は外、福は内」と元気に鬼を追い払います。

ひかりの子ども成長展

様々な経験を通して日々成長している子ども達。その過程を多角的な視点で感じていただく機会として成長展を行います。本来であれば、園内での開催となりますが、新型コロナウイルス感染症の感染者が未だ増加傾向にある状況を鑑み、『作品の持ち帰り』と『動画配信』という形で実施致します。ご家庭でお子様と一緒にたくさん会話をしながら、お楽しみください。

作品持ち帰り日：令和5年2月9日（木）

動画配信日：令和5年2月10日（金）～



涅槃会とは

涅槃会（ねはんえ）とは、花まつり・成道会に次ぐ三大法要の一つでお釈迦様がお亡くなりになった日のことです。お釈迦様は、涅槃の際、弟子たちに「ものごとは移り変わっていく。怠ることなく日々精進なさい。」とのお言葉を残し、80歳の生涯を終えたとされています。



ひなたぼっこ



友だちとの関わりが増えてきた輝組の子ども達。使いたい玩具を他の友だちが使っていて泣いていたMちゃん。その姿を見つけEちゃんが「大丈夫？」と駆け寄り、ティッシュを差し出してあげていました。泣いていたMちゃんも涙を拭いて気持ちが変わり、Eちゃんと笑顔で楽しく遊ぶ姿があり、ほっこりしました。